

質問者 阿部 律子

質問事項	質問の要旨
1 交通の利便性について	<p>私たち日本共産党女川町委員会は、町民の皆さまへ7月にアンケートをお願いし、2400通の配布に対して8月15日現在で226通の回答が寄せられました。その中で「今後町政で特に力を入れて欲しい事は」との設問に対して、一番多かった回答は交通の利便性でした。</p> <p>(1) 町民バスについては、毎年アンケート等で利便性の向上に努力されていますが、町民からの要望はまだまだ多いと感じています。このことについての見解を伺います。</p> <p>(2) 玄関から玄関へのデマンドタクシーの要望はかなりあります。また、フリー乗降を望む声も多く聞かれます。そしてまた、町民からは町内企業1社だけのタクシー利用に関する不満の声も聞こえてきます。町内1社だけに頼らず、町外の企業や社協との連携など、知恵と工夫が必要と思いますが。</p> <p style="text-align: right;">(質問の相手：町長・担当課長)</p>

質問事項	質問の要旨
<p>2 物価高騰対策に町独自の支援策を</p>	<p>町民アンケートの中で、「コロナ禍の前と比べて暮らしはどうか」との設問には苦しくなったと回答した人が半数を超えています。新型コロナウイルス感染症の5類への移行と同時に始まったエネルギーや穀物の世界的な高騰は、私たちの生活を直撃し、今やどこの国も大きな不安の中にあり、本町も例外ではありません。特に本町において将来に不安を感じている人たちは7割を超えています。少子高齢化が進む中での本町におけるこの比率は、見過ごすことのできない数字だと思います。</p> <p>(1) この状況についての見解を伺います。</p> <p>(2) 特に漁業に従事する方からは、燃料の高騰で大変との声が。「船を出しても必ず水揚げがあるとは限らない」、「船を出してみなければわからない」とのことです。このことについてどう思いますか。何か方策はありませんか。</p> <p>(3) 漁業者だけでなく、自営業者も含めた全町民に対する物価高騰対策として、町独自の支援をすべきと考えますが。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>

質問者 阿部 律子

質問事項	質問の要旨
<p>3 スクールバス利用の 拡充を</p>	<p>旭が丘に在住の子育て中の両親からの訴えです。</p> <p>「今年の夏は異常気象で猛暑が続いており、部活帰りに女子中学生が熱中症で死亡するというニュースを聞くにつけても、他人事ではないと感じます。来年小学生になる子どもがいますが、子どもの足だと学校まで40分ほどかかります。また、冬の足場の悪い中を歩かせるのも不安です」との声です。</p> <p>(1) このことについてどう思いますか。</p> <p>(2) スクールバスを利用している子どもの人数について、それぞれのスクールバスの利用人数と空いている席数は。</p> <p>(3) 「地球温暖化」から、今や「地球沸騰化」とまで言われるような異常気象です。</p> <p>子どもたちの安全と親御さんの安心のためにもスクールバス利用の拡充を速やかにすべきと思います。スクールバスの利用は2km以上などという従来の発想から抜け出す時期に来ていると思います。</p> <p>(質問の相手：町長・教育長・担当課長)</p>